

新しく農業に適応される二酸化炭素税

はじめに

最近、オーストラリア連邦議会で農業に対する二酸化炭素税の導入が可決されました。この税法は農地による二酸化炭素、吸収に対してクレジットを差し上げる法律であります。このクレジットは豪州国内のみならず海外での二酸化炭素市場でも有効活用することができます。

連邦議会で可決された三法案は、二酸化炭素クレジット（二酸化炭素農地関連法）二酸化炭素クレジット（二酸化炭素農地関連法）（改正案）かつ、オーストラリア国内の二酸化炭素排出量の登記です。この法令は2012年1月1日から施行されます。

これらの新しい法律が民間企業にも影響を与える可能性がありますので注意する必要があります。

二酸化炭素クレジット（二酸化炭素農地関連法）

3つの主的目的

- 1 国際義務：地球温暖化防止条約と京都議定書にもとづいて、オーストラリアの義務を果たすものです。
- 2 インセンティブ：オフセットプロジェクトに参加するインセンティブを与えるものです。
- 3 二酸化炭素削減：オーストラリアの環境保護と気候変動からの回復力を高めるための、二酸化炭素削減策です。

方法論

オーストラリアの二酸化炭素クレジット（“ACCUs”）はオフセットプロジェクトに対して発給されます。クレジットを頂く為には下記の条件を満たすことが必要です。

- プロジェクト：承認されたオフセットプロジェクトのみ
- 対象者：オフセットプロジェクトの対象者は品行方正な個人または優良企業に限ります。

- 報告義務：最初の5年間は12ヶ月毎に報告する義務があります。

主要機能

CFI（二酸化炭素農地関連法）は、温室効果ガス削減の為に地上活動を網羅しています。二酸化炭素削減をする為の方法の中には植林があります。または排出するメタンガスが空気中に出る前に抑えこむ事業等があります。

しかし、このイニシアチブは、特定のオフセットプロジェクトを除外します。雇用と地域社会に悪影響を与えるもの、自然環境に悪影響を及ぼすものを除きます。

さらなる改正

法案化される前にいくつかの改正案が出されました。オフセットを除外する枠が広がりました。以前は「著しいリスク」であったのに対して、現在では「通常のリスク」と規定枠が緩和されました。したがって担当大臣は自分の権限でオフセットプロジェクトを除外する事ができ、豪州オフセット委員会がさらに多くの情報を入手できるように改正いたしました。

二酸化炭素クレジット（二酸化炭素農地関連法）（改正案）

この法案の目的は、CFI（二酸化炭素農地関連法）が実務面で導入でき、マネーロンダリングやテロリスト活動家から資金流用されないよう、刑法上の規定を強化することにあります。

方法論

オフセットプロジェクトの承認プロセスは、気候温暖省エネ局に提案書を提出します。提案は外部コンサルタントに評価され、本局の審査を通過したもののみ、担当大臣に認可される事が可能となり、認可を受けた提案は官報に載ります。

オーストラリア国内の二酸化炭素排出量の登記

この法案は、オーストラリアの法律にもとづき、京都議定書で規定された排出量を認知するためのものです。その概要は、排出量が把握され、かつ売買できACCUsを肯定することにあります。

この法案は、オーストラリア国内の二酸化炭素排出量の登記法の主目的を設定し、

クレジットを取得する際および、クレジットを閉じる際の規定や取引の規定を設定する法案です。

主要機能

基本的に、法案では個人の名義で口座を設定し、変更の登記をするための管理者権限を与えます。

また、管理者の要求によって口座を閉じることができます。しかし、閉じた口座の再開を連邦裁判所に要望することができます。

商業的活動に与えるインパクト

新しく農業に適応される二酸化炭素税は、商業活動に大きな影響を与えます。したがって、企業は法的アドバイスを求め、この新しい法律が貴社にどのような影響を与えるのかを理解する事が必須になってきます。それは新しいビジネスの機会を生み出し、有効に法律を利用する事が可能になるからです。